

じゃらん観光国内宿泊旅行調査 2025 【旅行市場動向編】



国内宿泊旅行費用は上昇する一方で旅行者数は微減 地域が検討すべきは“ターゲットの明確化”と“選ばれる価値”の創出

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：牛田 圭一）の観光に関する調査・研究、地域振興機関『じゃらんリサーチセンター』（JRC、センター長：沢登 次彦）は、全国1万5,586人の宿泊旅行者を対象に「じゃらん観光国内宿泊旅行調査2025」を実施しました。この調査は、観光などを目的とした宿泊を伴う国内旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）の実態を調べるものです。2024年度（2024年4月～2025年3月）の主な結果は以下の通りです。

国内宿泊旅行実施率、延べ宿泊旅行者数、延べ宿泊数推計（→P2）

- 2024年度に国内宿泊旅行を実施した人は49.3%。前年度（49.5%）からの伸びは見られず。40代までの若い世代で減少していることが分かる。年間平均旅行回数（2.76回）も前年度（2.80回）から伸びず、延べ宿泊旅行者数は1億2775万人回、延べ宿泊数は2億2308万人泊の推計値となり、いずれも前年度から微減となった。

都道府県別の延べ宿泊旅行者数と居住ブロック別の傾向（→P3）

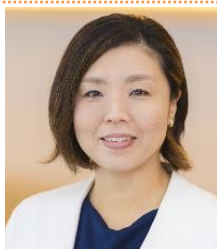
- 都道府県別の延べ宿泊旅行者数が最も多かったのは東京都。前年度からの増加幅が大きかったのは長野県、北海道、新潟県など。増加率では茨城県、岡山県、新潟県がトップ3となった。宿泊先ブロックでは関東や関西の減少が目立ち、居住ブロック内からの旅行者数が大きく減少した。

1回の国内宿泊旅行にかかった費用（大人一人当たり）、国内宿泊旅行の費用総額（→P4～P5）

- 1回の国内宿泊旅行にかかった費用は、平均で大人一人当たり6万4,100円。費用総額は推計で8兆1867億円。宿泊旅行実施率は微減したものの、旅行費用は上昇したことで市場は拡大傾向。

国内宿泊旅行に行かなかった理由（→P7）

- この1年間に国内宿泊旅行に行かなかった理由は、1位「何となく旅行をしないまま過ぎた」（26.6%）、2位「旅行に興味がなかった」（23.2%）、3位「家計の制約で旅行にお金がかけられなかった」（22.0%）。



JRC 主席研究員
森戸 香奈子

《解説》何のための「稼ぐ観光」なのか？

日本人の国内宿泊旅行実施率は前年度と同程度でしたが、旅行費用は上昇しました。これらの背景には旅行市場の二極化や物価高、訪日外国人増の間接的な影響（行き先の変化、旅行単価の上昇）などがあると考えられます。旅行に行かない理由として金銭的問題を挙げる割合も微増しています。また、金額が上がる一方で満足度（都道府県魅力度ランキング編参照）は上昇していません。昨今、観光業界では地域の稼ぐ力が必要だと指摘されています。しかし何のために「稼ぐ観光」を目指すのでしょうか。地域にお金落ちて、旅行者の満足度が低下したり、住民生活へ悪影響を及ぼしたりしては本末転倒です。地域の目指す観光の姿をいま一度考える必要があるのではないのでしょうか。

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

2024年度の1年間に国内宿泊旅行（※1）を実施した18～79歳の割合は49.3％。前年度（49.5％）からの伸びは見られなかった。実施者における年間平均旅行回数は2.76回、1回の旅行当たりの平均宿泊数は1.74泊であった。実宿泊旅行者数の推計値は4623万人、延べ宿泊旅行者数（※2）は1億2775万人回、延べ宿泊数（※3）は2億2308万人泊となり、前年度から微減となった。

性・年代別に見ると、宿泊旅行実施率が最も高いのは18～29歳の女性で、唯一6割を超える。ほか、18～29歳の男性や30代の女性などが5割台。前年度との差を見ると、40代までの若い世代で減少していることが分かる。一方、70代では5ポイント前後の増加が見られる。延べ宿泊旅行者数の推移で見ると、30～40代の減少幅が大きい。

■ 延べ宿泊旅行者数 推計値

	R6年10月1日 現在人口推計	調査結果			推計値		
	人口	宿泊旅行 実施率	宿泊旅行 実施者の 年間平均 旅行回数	宿泊旅行 実施者の 1回の旅行当たり 平均宿泊数	実 宿泊旅行者 数	延べ 宿泊旅行者 数	延べ 宿泊数
	(万人) <A>	(%) 	(回) <C>	(泊) <D>	(万人) A*B	(万人回) A*B*C	(万人泊) A*B*C*D
〔24年度〕全国18～79歳男女	9382	49.3	2.76	1.74	4623	12775	22308
前年度との差→		▲ 0.2	▲ 0.04	0.00	▲ 47	▲ 285	▲ 431
		前年度比増減→			▲ 1.0%	▲ 2.2%	▲ 1.9%
〔23年度〕全国18～79歳男女	9427	49.5	2.80	1.74	4670	13060	22739

※1 国内宿泊旅行：国内での宿泊を伴う旅行で、出張・帰省・修学旅行などを除く。ただし、友人・知人宅での宿泊、車中泊、キャンプなど宿泊施設を利用しない場合でも宿泊を伴う旅行であれば含める
※2 延べ宿泊旅行者数（万人回）：人口推計 × 宿泊旅行実施率 × 宿泊旅行実施者の年間平均旅行回数
※3 延べ宿泊数（万人泊）：延べ宿泊旅行者数 × 宿泊旅行実施者の1回の旅行当たり平均宿泊数
※ 人口について次の統計値を用いて推計を行っている。ウエイトバック集計と同様に、都道府県、年齢、男女別人口より算出。
2024年度：R6年10月1日現在人口推計 2023年度：R5年10月1日現在人口推計 （総務省統計局）

■ 性・年代別 国内宿泊旅行実施率の推移 ■ 性・年代別 延べ宿泊旅行者数の推移

	宿泊旅行 実施率 (%)		前年度 との差 (ポイント)
	24年度	23年度	
18～29歳 / 男性	52.2	55.7	▲ 3.5
18～29歳 / 女性	62.7	63.6	▲ 0.9
30代 / 男性	49.9	53.3	▲ 3.4
30代 / 女性	54.5	57.1	▲ 2.6
40代 / 男性	46.2	48.4	▲ 2.2
40代 / 女性	48.3	49.5	▲ 1.2
50代 / 男性	45.5	42.5	3.0
50代 / 女性	42.9	43.8	▲ 0.9
60代 / 男性	47.4	50.2	▲ 2.8
60代 / 女性	48.7	48.1	0.6
70代 / 男性	50.4	45.4	5.0
70代 / 女性	46.6	42.3	4.3

	延べ宿泊 旅行者数 (万人回)		前年度 との差 (万人回)
	24年度	23年度	
18～29歳 / 男性	1384	1364	19
18～29歳 / 女性	1360	1382	▲ 21
30代 / 男性	838	976	▲ 138
30代 / 女性	864	962	▲ 98
40代 / 男性	1029	1077	▲ 48
40代 / 女性	925	1025	▲ 101
50代 / 男性	1183	1061	122
50代 / 女性	1065	1042	22
60代 / 男性	1078	1182	▲ 104
60代 / 女性	1036	1034	2
70代 / 男性	1009	981	28
70代 / 女性	1003	972	31

都道府県別に見ると、延べ宿泊旅行者数が最も多かったのは東京都で1154万人。次いで2位北海道（951万人）、3位大阪府（766万人）となった。前年度と比較すると、増加幅が最も大きかったのは長野県（+41万人）、次いで北海道（+29万人）、新潟県（+24万人）。増加率で見ると茨城県（+14.2%）、岡山県（+10.0%）、新潟県（+9.4%）の順に高い。

居住ブロック別に宿泊先ブロックの延べ宿泊旅行者数を見てみると、減少幅の大きい関東や関西は居住ブロック内からの旅行者数の減少幅が大きい。特に関東では減少数が100万人を超えている。

■ 都道府県別 延べ宿泊旅行者数（推計値）
※上位10都道府県

2024年度推計結果			2023年度
順位	都道府県	推計値 (増減数)	推計値
	全 国	12775万人 (-285万人)	13060万人
1位	東京都	1154万人 (7万人)	1147万人
2位	北海道	951万人 (29万人)	922万人
3位	大阪府	766万人 (-34万人)	800万人
4位	神奈川県	670万人 (-1万人)	671万人
5位	静岡県	624万人 (-23万人)	647万人
6位	千葉県	553万人 (-48万人)	601万人
7位	長野県	547万人 (41万人)	506万人
8位	京都府	518万人 (-28万人)	546万人
9位	兵庫県	492万人 (13万人)	479万人
10位	沖縄県	475万人 (-1万人)	476万人

■ 都道府県別 延べ宿泊旅行者数
増加数／増加率
(2024年度／2023年度 推計値)
※上位10都道府県

23年度→24年度 増加数		23年度→24年度 増加率	
1位 長野県	41万人	1位 茨城県	14.2%
2位 北海道	29万人	2位 岡山県	10.0%
3位 新潟県	24万人	3位 新潟県	9.4%
4位 茨城県	18万人	4位 岩手県	8.7%
5位 岩手県	15万人	5位 長野県	8.2%
5位 岡山県	15万人	6位 高知県	6.2%
7位 兵庫県	13万人	7位 富山県	6.0%
8位 富山県	9万人	8位 福井県	5.8%
9位 奈良県	8万人	9位 奈良県	5.7%
10位 東京都	7万人	10位 北海道	3.1%
10位 福井県	7万人		
10位 高知県	7万人		

■ 居住ブロック別 宿泊先ブロックの延べ宿泊旅行者数（推計値）

		宿泊先ブロック								
		北海道 ブロック	東北 ブロック	関東 ブロック	甲信越・ 北陸 ブロック	東海 ブロック	関西 ブロック	中四国 ブロック	九州 ブロック	沖縄 ブロック
全 体	24年度	951	1216	3330	1581	1501	2259	1300	1501	475
	23年度	922	1218	3397	1566	1544	2324	1320	1560	476
	24年度-23年度	29	-2	-66	16	-44	-65	-20	-59	-1
2 3 年 度 と の 差	北海道ブロック	9	4	19	-11	-2	-3	2	7	0
	東北ブロック	2	-38	4	0	2	1	7	8	3
	関東ブロック	16	73	-107	32	6	28	-33	-9	-7
	甲信越・北陸ブロック	-4	-2	-14	19	13	4	15	2	-1
	東海ブロック	8	-16	-16	-25	-16	-28	-2	-29	0
	関西ブロック	-3	-14	28	-4	-23	-52	5	-29	1
	中四国ブロック	-2	-7	5	-2	-11	-1	-42	10	7
	九州ブロック	2	1	4	6	-13	-29	24	-26	-4
	沖縄ブロック	0	-3	10	1	1	16	4	6	0

※居住ブロック別増減/100万人以上減少：網掛け白文字

※ 1回の旅行において複数の都道府県に宿泊した場合、それぞれの都道府県に旅行回数1回とカウントしているため、各ブロックや各都道府県の延べ宿泊旅行者数を足し上げると全国の延べ宿泊旅行者数を超える
※ 一人当たり1年間に行った全ての宿泊旅行回数を尋ねた結果から推計している

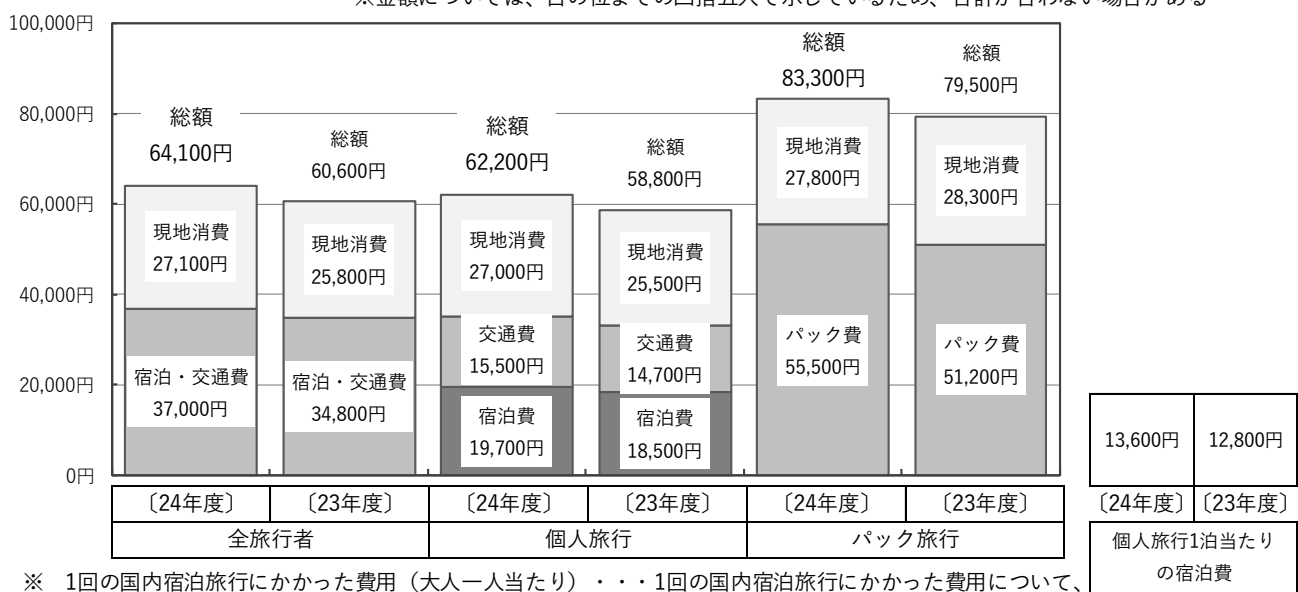
1回の国内宿泊旅行にかかった費用（大人一人当たり）、国内宿泊旅行の費用総額

1回の国内宿泊旅行にかかった費用総額は全旅行者の平均で大人一人当たり6万4,100円。宿泊・交通費が3万7,000円、現地消費が2万7,100円であった。個人旅行で見ると、宿泊費は1万9,700円、1泊あたりに換算すると1万3,600円であった。前年度と比較すると、バック旅行の現地消費以外はいずれも上昇しており、全旅行者では総額で+3,500円、宿泊・交通費は+2,200円、現地消費は+1,300円、個人旅行における宿泊費は+1,200円となった。

国内宿泊旅行にかけられた費用総額は、推計で8兆1867億円。そのうち7兆2721億円を個人旅行が占める。費目別に見ると、総額のうち、42.4%を現地消費が占め、3兆4730億円の規模となった。宿泊旅行実施率は微減したものの、旅行費用の上昇で市場規模は拡大した。

■ 1回の国内宿泊旅行にかかった費用（大人一人当たり）

※金額については、百の位までの四捨五入で示しているため、合計が合わない場合がある

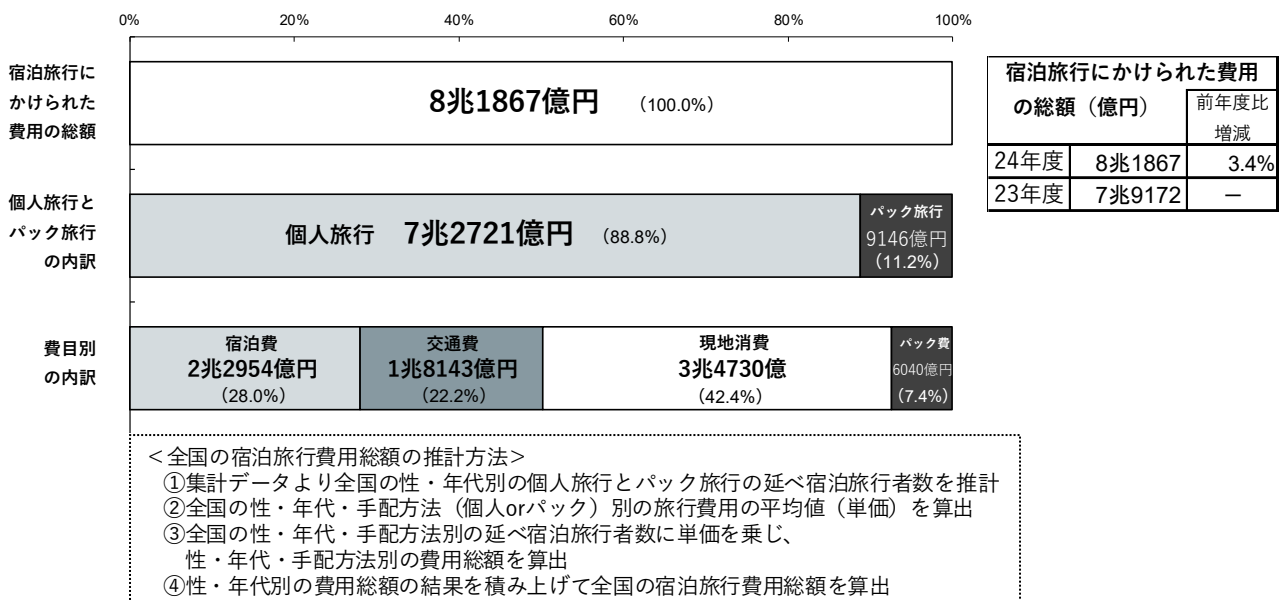


※ 1回の国内宿泊旅行にかかった費用（大人一人当たり）・・・1回の国内宿泊旅行にかかった費用について、個人旅行の場合、一人当たりの宿泊費・交通費・現地消費の合計。バック旅行の場合、一人当たりのバック費・現地消費の合計。18歳未満の子どもを連れた旅行の場合は、全員でかかった費用を同行した大人の人数で割っている

※ 個人旅行 個人で宿を手配した旅行で、旅行会社を通して宿を手配した場合も含む

※ 現地消費 旅行中に、現地で消費した費用の合計。買い物、飲食、体験・観光、移動など、28項目の中で、実施した行動の費用の合計を指す。ただし、宿泊プラン・ツアーに含まれていた費用は除く

■ 国内宿泊旅行にかけられた費用総額（推計値）



宿泊先都道府県別 1回の国内宿泊旅行にかかった費用（大人一人当たり）

1回の国内宿泊旅行にかかった費用について、宿泊先都道府県別に見てみる。全旅行者で総額を見ると、最も高いのは沖縄県で12万4,300円。一方、最も低いのは茨城県で3万7,200円だった。宿泊費用について注目してみると、個人旅行1泊当たりの宿泊費で最も高いのは千葉県で1万8,500円、最も低いのは埼玉県で9,400円だった。東京都や大阪府など都市圏では低価格帯の宿泊施設も多いため平均値は低い傾向にあるが、温泉旅館などの宿泊施設が多い地域では高い傾向にある。

また、個人旅行1泊当たりの宿泊費について前年度と比較してみると、全体で800円の上昇となった。宿泊費が低下している地域は岩手県や山形県、愛媛県など一部の地域で、上昇傾向にある地域が多い。

■ 宿泊先都道府県別 1回の国内宿泊旅行にかかった費用（大人一人当たり）

※金額については、百の位までの四捨五入で示しているため、合計が合わない場合がある

	全旅行者			個人旅行				バック旅行			個人旅行1泊当たりの宿泊費		
	総額	宿＋交通費	現地消費	総額	宿泊費	交通費	現地消費	総額	バック費	現地消費	24年度	23年度	差額
24年度 全体	64,100	37,000	27,100	62,200	19,700	15,500	27,000	83,300	55,500	27,800	13,600	12,800	800
北海道	90,100	51,500	38,600	87,400	23,900	24,500	39,000	108,300	72,200	36,100	12,600	11,900	700
青森県	73,100	44,600	28,500	69,000	17,700	21,700	29,600	100,900	80,000	20,900	11,400	10,800	600
岩手県	58,200	36,400	21,800	56,200	18,500	16,100	21,600	74,000	50,900	23,200	12,400	13,600	▲1,200
宮城県	51,300	29,500	21,800	50,900	16,200	13,000	21,800	57,200	35,000	22,300	12,700	12,200	500
秋田県	67,100	43,900	23,200	63,700	20,300	19,100	24,400	97,000	84,900	12,100	11,600	12,500	▲900
山形県	50,600	30,100	20,500	49,100	16,900	11,400	20,700	73,900	55,900	18,000	12,300	14,200	▲1,900
福島県	43,900	25,800	18,100	42,700	16,300	8,200	18,300	59,600	43,300	16,300	12,800	12,800	0
栃木県	42,200	26,200	16,000	41,500	18,700	6,900	15,900	53,400	35,100	18,400	15,500	14,700	800
群馬県	39,900	26,200	13,700	38,800	18,900	6,700	13,200	56,300	36,300	19,900	15,200	14,400	800
茨城県	37,200	22,000	15,200	36,600	12,800	8,400	15,400	57,800	50,600	7,100	11,600	10,200	1,400
埼玉県	45,500	25,400	20,100	45,300	12,500	12,700	20,000	49,800	28,800	21,000	9,400	8,900	500
千葉県	69,700	38,500	31,200	68,000	25,900	11,500	30,600	100,100	57,100	43,100	18,500	15,800	2,700
東京都	75,900	41,000	34,900	75,500	18,800	21,700	35,100	79,700	46,500	33,200	12,000	10,800	1,200
神奈川県	54,400	32,600	21,800	53,500	18,900	12,600	22,100	69,400	52,100	17,200	14,900	14,700	200
山梨県	46,500	27,400	19,100	45,300	18,700	7,800	18,800	74,700	49,200	25,500	13,900	12,800	1,100
長野県	52,300	31,500	20,800	49,800	19,000	10,100	20,800	77,700	56,900	20,800	13,000	13,100	▲100
新潟県	56,000	34,800	21,200	52,900	17,800	12,700	22,300	82,200	69,900	12,300	12,900	12,900	0
富山県	58,700	36,200	22,500	59,000	18,600	16,100	24,300	56,200	45,400	10,800	12,400	10,800	1,600
石川県	61,400	36,500	24,900	62,000	18,200	17,900	25,800	57,700	39,400	18,300	13,700	13,600	100
福井県	53,500	32,700	20,800	51,400	19,100	11,900	20,500	84,000	58,800	25,200	15,900	15,200	700
静岡県	45,600	28,200	17,400	45,000	19,500	8,300	17,200	58,000	36,300	21,800	16,300	14,900	1,400
岐阜県	46,700	29,300	17,400	44,900	19,000	8,900	17,000	70,100	47,200	22,900	15,700	13,400	2,300
愛知県	55,400	29,600	25,800	55,100	14,500	14,700	26,000	58,200	34,500	23,800	11,100	9,900	1,200
三重県	53,800	31,700	22,100	51,900	20,900	9,300	21,800	76,800	50,900	25,900	16,600	15,100	1,500
滋賀県	57,000	33,500	23,500	51,900	17,500	11,100	23,300	94,100	69,100	25,000	13,100	11,900	1,200
京都府	75,100	40,600	34,500	74,500	22,800	17,200	34,400	81,500	46,500	35,000	14,900	13,400	1,500
大阪府	69,900	35,200	34,700	68,400	16,000	18,100	34,300	84,500	45,700	38,800	10,500	10,500	0
兵庫県	54,800	32,400	22,400	54,200	20,200	11,600	22,400	63,700	41,000	22,700	16,000	15,600	400
奈良県	59,900	35,200	24,700	56,800	18,000	15,200	23,700	83,400	50,600	32,900	12,500	11,700	800
和歌山県	48,900	29,100	19,800	46,100	17,700	8,200	20,200	80,800	66,200	14,600	14,400	14,300	100
鳥取県	48,600	30,700	17,900	49,000	17,600	13,000	18,300	42,300	33,300	9,000	13,400	12,200	1,200
島根県	67,000	42,900	24,100	64,000	19,600	18,200	26,100	83,200	69,600	13,500	13,300	13,500	▲200
岡山県	55,500	32,700	22,800	53,600	15,200	16,900	21,600	81,800	41,300	40,500	11,500	10,300	1,200
広島県	59,700	35,100	24,600	58,400	16,300	17,200	24,900	69,900	47,800	22,100	11,800	11,000	800
山口県	54,100	37,200	16,900	50,400	20,500	12,900	17,000	95,600	79,200	16,500	14,600	13,800	800
徳島県	56,500	35,900	20,600	56,600	21,900	13,600	21,200	53,800	48,000	5,900	16,300	12,900	3,400
香川県	51,400	30,500	20,900	49,700	14,800	14,900	20,000	80,500	45,000	35,500	11,200	10,700	500
愛媛県	56,100	33,500	22,600	55,300	17,100	15,700	22,400	66,600	41,800	24,900	12,000	13,700	▲1,700
高知県	65,000	35,300	29,700	62,600	16,600	16,500	29,500	99,400	67,600	31,800	10,700	11,600	▲900
福岡県	68,400	36,400	32,000	68,300	15,300	21,200	31,800	70,300	36,400	33,900	9,700	9,700	0
佐賀県	49,400	30,600	18,800	47,100	18,300	10,000	18,700	79,600	59,500	20,100	14,900	14,600	300
長崎県	71,500	41,900	29,600	68,300	21,400	16,900	30,000	99,800	73,700	26,100	14,600	13,800	800
熊本県	58,500	33,200	25,300	58,300	19,200	13,800	25,300	63,600	37,400	26,100	14,000	12,600	1,400
大分県	57,900	35,900	22,000	57,600	23,400	12,200	22,100	65,100	46,100	19,000	16,900	14,300	2,600
宮崎県	65,600	39,600	26,000	60,700	17,500	17,400	25,800	94,800	67,300	27,500	10,400	10,100	300
鹿児島県	79,500	47,400	32,100	77,900	21,400	23,300	33,200	95,800	74,900	20,900	11,200	11,900	▲700
沖縄県	124,300	73,200	51,100	125,500	36,700	34,800	54,000	118,800	80,600	38,100	14,200	13,400	800

全体平均より5,000円以上高い場合

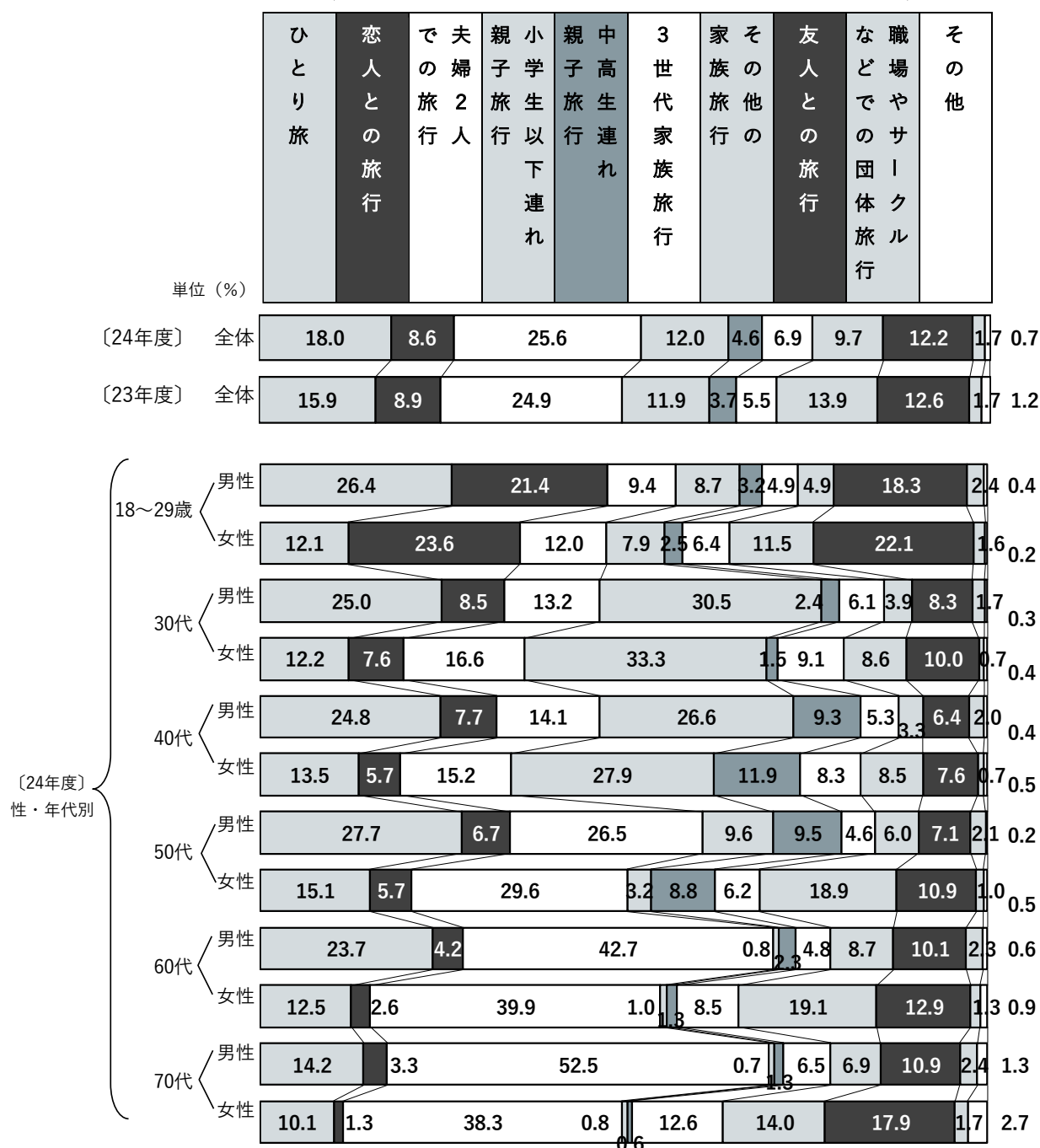
全体平均より5,000円以上低い場合

単位（円）

2024年度に実施された国内宿泊旅行のうち、同行形態として最も割合が高かったのは「夫婦2人での旅行」で25.6%。次いで「ひとり旅」が18.0%で続く。前年度と比較すると「その他の家族旅行」(9.7%)が4.2ポイント減少した。

性・年代別に見ると、男性では「ひとり旅」の割合が高い傾向にあり、18～29歳、50代では最も高い同行形態となっている。18～29歳の女性は「恋人との旅行」(23.6%)に次いで「友人との旅行」(22.1%)が続く。30～40代は男女とも「小学生以下連れ親子旅行」のシェアが最も高い。60代以上になると男女とも「夫婦2人での旅行」が最も高くなり、また、70代の女性においては「友人との旅行」も17.9%と高くなる。

■ 国内宿泊旅行の同行形態（各単一回答／一人当たり最大3回までの旅行件数）



国内宿泊旅行に行かなかった理由

この1年間に国内宿泊旅行に行かなかった理由は、「何となく旅行をしないまま過ぎた」（26.6%）が最も高く、次いで「旅行に興味がなかった」（23.2%）、「家計の制約で旅行にお金がかけれなかった」（22.0%）が続く。前年度と比較すると、上位3項目の順位に変化はないが、「旅行に興味がなかった」「家計の制約で旅行にお金がかけれなかった」がそれぞれ増加。また、「将来が心配で支出を抑えたかった」も微増し、予算に関する項目が伸びている。

性・年代別に見ると、18～29歳では「何となく旅行をしないまま過ぎた」「旅行に興味がなかった」が全体と比べて高い。40代では「旅行に興味がなかった」「家計の制約で旅行にお金がかけれなかった」が全体と比べて高い。

■ 国内宿泊旅行に行かなかった理由 上位10項目（複数回答）

【2024年度】		件数 (万人)	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位		
			何となく旅行をしないまま過ぎた	旅行に興味がなかった	家計の制約で旅行にお金がかけられなかった	休みが取れなかった	将来が心配で支出を抑えたかった	一緒に行く人がいなかった	ベットがいた	国内で行きたいと思う場所がなかった	旅行したい人とスケジュールが合わなかった	自分の健康上の理由（治療などの必要）があった
全体		4,759	26.6	23.2	22.0	10.2	8.9	7.9	7.8	5.9	5.9	5.9
性・年代別	男性	2,410	26.5	27.3	19.5	10.9	8.2	8.2	5.4	6.5	5.1	4.6
	女性	2,349	26.7	19.0	24.6	9.4	9.7	7.6	10.3	5.3	6.6	7.3
	18～29歳	639	31.0	26.7	16.1	9.5	6.0	9.0	2.3	6.5	6.0	2.4
	30代	635	25.1	25.0	22.9	11.3	9.3	6.6	4.8	5.1	5.1	2.7
	40代	863	23.2	26.3	25.8	12.9	10.0	7.0	7.1	4.4	6.7	4.9
	50代	1,020	25.6	24.9	23.4	12.9	9.1	7.5	9.2	6.6	5.5	4.6
	60代	772	26.4	20.5	20.2	9.9	9.0	7.9	12.0	6.5	6.2	7.6
	70代	831	29.2	16.1	21.6	3.7	9.7	9.7	9.6	6.2	5.6	12.2

【2023年度】		件数 (万人)	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
			何となく旅行をしないまま過ぎた	旅行に興味がなかった	家計の制約で旅行にお金がかけられなかった	新型コロナウイルス感染症の影響で行けなかった	休みが取れなかった	ベットがいた	将来が心配で支出を抑えたかった	一緒に行く人がいなかった	旅行したい人とスケジュールが合わなかった	混雑するシーズンに旅行をしなかった
全体		4,757	27.2	21.7	20.4	11.0	10.8	8.5	7.9	7.3	6.0	5.7
性・年代別	男性	2,394	27.3	26.0	17.8	9.8	12.1	6.0	7.7	7.2	5.2	4.4
	女性	2,364	27.1	17.5	23.1	12.3	9.5	11.1	8.1	7.4	6.9	6.9
	18～29歳	603	27.4	24.5	17.8	5.0	10.8	3.1	6.3	8.5	7.5	2.5
	30代	602	26.7	24.1	21.8	6.8	11.8	5.4	8.6	6.9	5.8	4.0
	40代	862	25.6	24.4	24.1	7.6	14.8	7.9	9.7	6.1	6.5	5.8
	50代	1,020	25.1	24.9	23.3	8.0	14.4	9.9	8.2	6.1	6.5	4.9
	60代	755	29.2	19.1	18.8	13.1	9.9	11.7	7.3	8.2	5.5	6.8
	70代	916	29.9	14.5	16.0	22.5	3.2	10.4	6.9	8.5	4.7	8.5

単位 (%)

太字 : 全体より3ポイント以上高い項目

◎調査方法 インターネットによる調査

■1次調査

- ①調査目的 全国の国内宿泊旅行実施者を抽出することに加え、性・年代別の宿泊旅行実施率を知るために実施した
- ②調査時期 2025年4月1日（火）～ 2025年4月22日（火）
- ③調査対象 全国18～79歳の男女（株式会社マクロミルの登録モニター）
- ④配信数 75万7,852件
- ⑤調査内容 2024年度（2024年4月～2025年3月）1年間の国内宿泊旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）実態
- ⑥回収数 6万8,547件（回収率9.0%）
- ⑦集計対象者 2万件
 - ※2次調査において都道府県別、性・年代別の割り付けに合った回収が得られるように配信した
 - ・配信数と割り付けについて
 - 2次調査のセル別目標回収数は、「令和2年 国勢調査」の都道府県別、性・年代別の人口におおむね従うように47都道府県を8ランクに分けサンプル数を割り付けて配信した
 - ランクごとに7:6:5:4:3:2:1:0.8の割合で、合計約1万5,400件の回収を目標とした
 - ・2次調査の配信数について
 - ウェイトバック値のバランスをなるべくそろえるために、県別に均等割り付けではなく、ランクを設けて割り付けを行った上で、1次調査の旅行実施者3万2,850件を都道府県ごとに分配し、サンプル数を割り付けて配信した
 - ※回収された6万8,547件のうち都道府県別、性・年代別に割り付けを行い2万件を抽出性・年代別宿泊旅行実施率を算出

■2次調査

- ①調査目的 全国の国内宿泊旅行実施者に対して、国内宿泊旅行の内容を知るために実施した
- ②調査時期 2025年4月10日（木）～ 2025年4月22日（火）
- ③調査対象 3万2,850件
 - 1次調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」と回答した人：3万2,850件
- ④配信数 3万1,095件
 - ※配信数は対象者の中から都道府県別、性・年代別の割り付けに合わせてランダムに抽出した
- ⑤調査内容 昨年度1年間に実施した全ての国内宿泊旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）の行き先と回数について、また一人最大3件までの個別国内宿泊旅行について、具体的な内容を調査した
- ⑥回収数 1万5,619件（回収率50.2%）
- ⑦有効回答数 1万5,586件（旅行件数ベース3万16件）

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、人材派遣、マーケティング・マッチング・テクノロジーの3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにいる、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ： <https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート： <https://www.recruit.co.jp/>